

# 第VII章 長寿社会に対する意識

ここでは、長寿社会の到来に係る価値観について、捉えている。

## 1. 何歳まで生きたいと思うか

Q20 人生 100 年時代の到来も間近といわれていますが、あなたは何歳まで生きたいと思いますか。

1 69 歳以下  
 2 70 歳代  
 3 80 歳代  
 4 90 歳代  
 5 100 歳以上

何歳まで生きたいと思うかについては、「80 歳代」が 53.9%と最も多く、次いで、「90 歳代」が 30.6%の順となっている。これに「100 歳以上」(6.0%)を加えると、80 歳代以上で約 9 割を占めている。(図表VII-1)

〈図表VII-1〉 何歳まで生きたいと思うか

(単位：%)



性別にみると、特に差がみられない。

年齢別にみると、「80 歳代」は 74 歳以下の層で高くなっている。一方、「90 歳代」「100 歳以上」は、概ね高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表VII-2)

〈図表VII-2〉 何歳まで生きたいと思うか [性・年齢別]

(単位：%)

		N	69歳以下	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上	無回答
全 体		2,083	0.3	6.2	53.9	30.6	6.0	2.8
性別	男 性	964	0.3	6.7	54.7	29.3	6.7	2.3
	女 性	1,119	0.4	5.8	53.3	31.8	5.5	3.3
本人年齢別	60～64歳	353	1.7	13.9	60.3	▲18.1	▲3.7	2.3
	65～69歳	406	0.2	11.8	62.8	▲18.5	▲3.9	2.7
	70～74歳	497	-	5.4	63.4	▲26.8	▲2.8	1.6
	75～79歳	407	-	▲1.5	58.0	31.2	6.9	2.5
	80～84歳	242	-	-	▲38.0	51.2	8.3	2.5
	85～89歳	132	-	-	▲9.1	69.7	12.9	8.3
	90歳以上	46	-	-	-	50.0	39.1	10.9

本人年収別にみると、特に差はみられない。〈図表Ⅶ-3〉

〈図表Ⅶ-3〉 何歳まで生きたいと思うか [本人年収別]

(単位：%)

		N	69歳以下	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上	無回答
全 体		2,083	0.3	6.2	53.9	30.6	6.0	2.8
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	0.3	6.2	51.4	30.1	7.9	4.1
	100 万 円 未 満	435	0.7	7.6	54.7	30.3	4.6	2.1
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	0.2	5.6	55.4	31.1	5.7	▲ 2.1
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	-	8.1	55.6	26.7	5.9	3.7
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	-	-	56.0	36.0	4.0	4.0
	2,000 万 円 以 上	13	-	-	38.5	46.2	15.4	-

世帯保有金融資産別にみると、「80歳代」は100～2,000万円未満の各層で高くなっている。また、「90歳代」は2,000～5,000万円未満層で高く、100～1,000万円未満層で低くなっている。

一方、「69歳以下」「70歳代」は100万円未満層で、高くなっている傾向がみられる。〈図表Ⅶ-4〉

〈図表Ⅶ-4〉 何歳まで生きたいと思うか [世帯保有金融資産別]

(単位：%)

		N	69歳以下	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上	無回答
全 体		2,083	0.3	6.2	53.9	30.6	6.0	2.8
金 融 資 産 別	100 万 円 未 満	303	○ 1.0	○ 10.2	51.2	29.0	6.9	1.7
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	-	6.5	○ 58.4	▲ 26.8	6.1	2.3
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	0.4	4.8	○ 61.2	28.6	3.7	1.5
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	-	4.0	51.7	○ 37.4	6.0	▲ 1.0
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	-	5.0	56.3	33.6	4.2	0.8
	1 億 円 以 上	23	-	4.3	43.5	39.1	13.0	-

家族形態別にみると、「80歳代」は夫婦と子のみで高く、単身層で低くなっている。一方、「100歳以上」は自分（夫婦）と子と孫の層で高く、夫婦と子のみで低くなっている。（図表Ⅶ-5）

〈図表Ⅶ-5〉 何歳まで生きたいと思うか〔家族形態別〕

（単位：％）

		N	69歳以下	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上	無回答
全 体		2,083	0.3	6.2	53.9	30.6	6.0	2.8
家族形態別	単 身	333	0.9	7.5	▲48.3	33.0	6.9	3.3
	夫 婦 の み	773	0.3	5.4	54.1	31.2	5.7	3.4
	2 世 代 世 帯	424	0.2	6.4	○61.1	27.4	▲3.8	▲1.2
	夫 婦 と 子 の み	354	0.3	6.5	○60.5	27.7	▲3.7	1.4
	親と自分（夫婦）のみ	70	-	5.7	64.3	25.7	4.3	-
	3 世 代 世 帯	227	-	5.7	53.7	28.2	8.8	3.5
	自 分（夫婦）と子と孫	195	-	5.1	51.8	29.7	○9.7	3.6
親と自分（夫婦）と子	32	-	9.4	65.6	18.8	3.1	3.1	
そ の 他	299	-	7.0	51.5	33.1	6.7	1.7	

客観的健康状態別にみると、「80歳代」は、差し支えなし層で高く、健康状態が悪化するにつれて低くなっている傾向がみられる。一方、「90歳代」「100歳以上」は、大いに差し支えあり層で高くなっている。（図表Ⅶ-6）

〈図表Ⅶ-6〉 何歳まで生きたいと思うか〔客観的健康状態別〕

（単位：％）

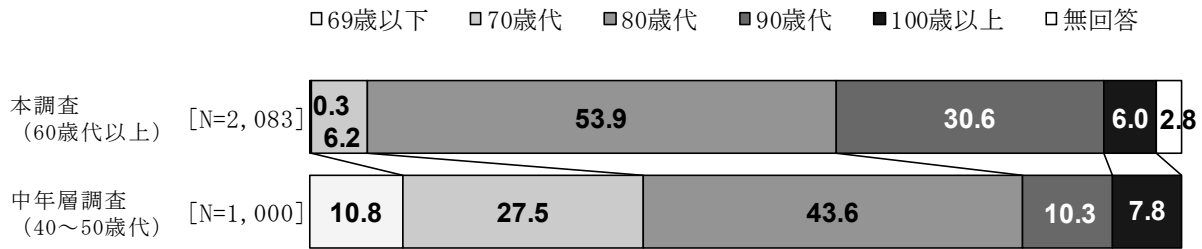
		N	69歳以下	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上	無回答
全 体		2,083	0.3	6.2	53.9	30.6	6.0	2.8
客観的健康状態別	差 し 支 え な し	925	-	5.5	○56.3	31.0	5.5	▲1.6
	ほんの少し差し支えあり	669	0.3	6.9	54.1	30.2	4.8	3.7
	差 し 支 え あ り	303	○1.0	6.6	54.8	26.4	7.9	3.3
	大いに差し支えあり	125	0.8	5.6	▲39.2	○39.2	○12.0	3.2

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、60歳代以上が中年層を大きく上回っているのは「80歳代」と「90歳代」で、それぞれ10.3ポイント差、20.3ポイント差となっている。一方、「70歳代」は中年層が27.5%と60歳代以上の6.2%を大きく上回っている（21.3ポイント差）。

総じて、中年層に比べて、60歳代以上はより高年齢まで長生きしたいと思っている傾向がみられる（図表Ⅶ-7）

〈図表Ⅶ-7〉 何歳まで生きたいと思うか 「中年層調査」との比較：参考

（単位：％）



（単位：％）

		N	69歳以下	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上
本調査	全 体	2,083	0.3	6.2	53.9	30.6	6.0
	60～64歳	353	1.7	13.9	60.3	18.1	3.7
	65～69歳	406	0.2	11.8	62.8	18.5	3.9
	70～74歳	497	-	5.4	63.4	26.8	2.8
	75～79歳	407	-	1.5	58.0	31.2	6.9
	80～84歳	242	-	-	38.0	51.2	8.3
	85～89歳	132	-	-	9.1	69.7	12.9
	90歳以上	46	-	-	-	50.0	39.1
中年層調査	全 体	1,000	10.8	27.5	43.6	10.3	7.8
	40～44歳	287	15.0	25.1	38.7	11.2	10.1
	45～49歳	267	10.5	28.1	44.9	8.6	7.9
	50～54歳	228	8.8	27.6	46.5	9.6	7.5
	55～59歳	218	7.8	29.8	45.4	11.9	5.0

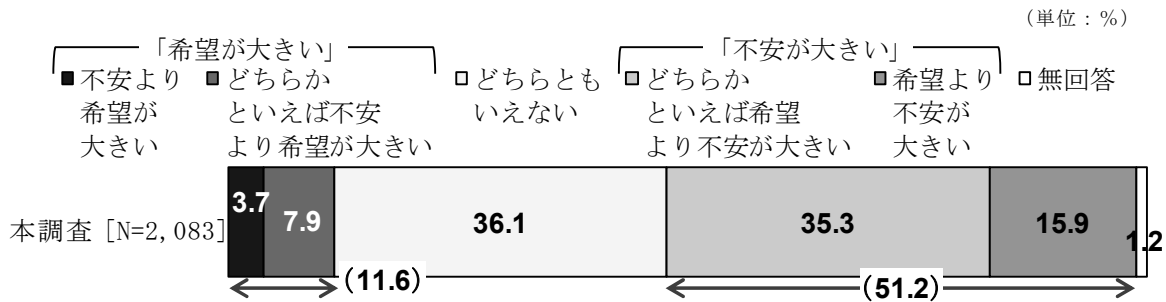
## 2. 長寿社会への不安感

Q21 人生 100 年時代の到来に対し、あなたは希望と不安どちらのほうが大きいですか。

- 1 不安より希望が大きい
- 2 どちらかといえば不安より希望が大きい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば希望より不安が大きい
- 5 希望より不安が大きい

人生 100 年時代の到来に対しては、「不安が大きい」（“どちらかといえば希望より不安が大きい”と“希望より不安が大きい”の回答の合計）が 51.2%と半数を超え、「希望が大きい」（“不安より希望が大きい”と“どちらかといえば不安より希望が大きい”の回答の合計）の 11.6%を大きく上回っている。「どちらともいえない」は 36.1%で 4 割弱となっている。〈図表VII-8〉

〈図表VII-8〉 長寿社会への不安感



性別にみると、「不安が大きい」は男性に比べて女性で高くなっている。逆に、「希望が大きい」は男性が女性を上回っている。

年齢別にみると、「不安が大きい」は高年齢層になるほど低くなっている傾向がみられる。ちなみに、「希望が大きい」は 85～89 歳で 18.2%、90 歳以上で 23.9%と 2 割前後を占めている。〈図表VII-9〉

〈図表VII-9〉 長寿社会への不安感 [性・年齢別]

(単位：%)

性別	年齢別	N	「希望が大きい」		「どちらともいえない」	「不安が大きい」		無回答		
			不安より希望が大きい	どちらかといえば不安より希望が大きい		不安が大きい	希望より不安が大きい			
全体		2,083	3.7	7.9	11.6	36.1	51.2	35.3	15.9	1.2
性別	男性	964	3.9	9.6	13.6	37.8	47.4	33.2	14.2	1.2
	女性	1,119	3.5	6.3	9.8	34.6	54.5	37.2	17.3	1.1
本人年齢別	60～64歳	353	2.8	7.6	10.5	34.3	54.1	35.7	18.4	1.1
	65～69歳	406	3.2	7.1	10.3	33.7	54.7	36.7	18.0	1.2
	70～74歳	497	3.2	7.0	10.3	36.4	51.9	40.0	11.9	1.4
	75～79歳	407	2.9	7.6	10.6	37.3	51.4	35.9	15.5	0.7
	80～84歳	242	3.7	9.9	13.6	36.8	49.2	32.6	16.5	0.4
	85～89歳	132	7.6	10.6	18.2	37.9	41.7	23.5	18.2	2.3
	90歳以上	46	15.2	8.7	23.9	45.7	28.3	13.0	15.2	2.2

本人年収別にみると、「不安が大きい」は低収入層ほど高くなっている。逆に、概ね高収入層になるほど、「希望が大きい」は高くなっている傾向がみられ、1,000万円以上の層では「不安が大きい」よりも「希望が大きい」が多くなっている。(図表VII-10)

〈図表VII-10〉 長寿社会への不安感 [本人年収別]

(単位：%)

		N	不安が大きいより希望が大きい	がばど 大不安 ち安ら きいよ いか りと 希い 望え	希望が大きい	など い ち ら と も い え	不安が大きい	がばど 大希 き望 ら いよ か りと 不 い 安え	大希 き望 いよ り 不 安 が	無 回 答
全 体		2,083	3.7	7.9	11.6	36.1	51.2	35.3	15.9	1.2
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	3.4	▲ 4.5	▲ 7.9	33.9	(57.2)	33.6	(23.6)	1.0
	100 万 円 未 満	435	2.8	▲ 4.4	▲ 7.1	36.3	(55.9)	39.1	16.8	0.7
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	3.3	(9.0)	12.3	35.5	50.8	36.2	14.6	1.3
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	4.4	(14.8)	(19.3)	43.7	▲ 36.3	30.4	▲ 5.9	0.7
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	(16.0)	16.0	(32.0)	44.0	▲ 24.0	▲ 12.0	12.0	-
	2,000 万 円 以 上	13	(30.8)	(23.1)	(53.8)	▲ 7.7	38.5	30.8	7.7	-

世帯保有金融資産別にみると、「不安が大きい」は100～1,000万円未満層で高く、高資産層になるほど低くなっている。(図表VII-11)

〈図表VII-11〉 長寿社会への不安感 [世帯保有金融資産別]

(単位：%)

		N	不安が大きいより希望が大きい	がばど 大不安 ち安ら きいよ いか りと 希い 望え	希望が大きい	など い ち ら と も い え	不安が大きい	がばど 大希 き望 ら いよ か りと 不 い 安え	大希 き望 いよ り 不 安 が	無 回 答
全 体		2,083	3.7	7.9	11.6	36.1	51.2	35.3	15.9	1.2
金融 資 産 別	100 万 円 未 満	303	3.0	6.3	9.2	34.3	55.8	31.7	(24.1)	0.7
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	4.6	7.0	11.6	▲ 31.1	(56.2)	(39.8)	16.3	1.1
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	1.8	9.9	11.7	36.3	50.9	37.7	13.2	1.1
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	2.3	10.3	12.6	40.4	▲ 45.7	33.4	12.3	1.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	4.2	(13.4)	(17.6)	42.9	▲ 39.5	31.9	▲ 7.6	-
	1 億 円 以 上	23	8.7	(21.7)	(30.4)	39.1	▲ 30.4	30.4	-	-

家族形態別にみると、「不安が大きい」は親と自分（夫婦）のみの層で高くなっている。（図表VII-12）

〈図表VII-12〉 長寿社会への不安感 [家族形態別]

(単位：%)

		N	不安が大きいより希望が	がばど 大不安 いより か いと 希 い 望 え	希望が大きい	など い ち ら と も い え	不安が大きい	がばど 大希望 いより か いと 希 い 望 え	大希望 いより 不安が	無回答
全 体		2,083	3.7	7.9	11.6	36.1	51.2	35.3	15.9	1.2
家族 形態 別	単 身	333	2.4	6.6	9.0	38.7	51.7	34.2	17.4	0.6
	夫 婦 の み	773	3.9	7.8	11.6	37.4	49.3	34.0	15.3	1.7
	2 世 代 世 帯	424	3.5	9.2	12.7	▲31.1	55.4	39.2	16.3	0.7
	夫 婦 と 子 の み	354	3.7	9.0	12.7	32.5	54.0	38.4	15.5	0.8
	親と自分（夫婦）のみ	70	2.9	10.0	12.9	▲24.3	62.9	42.9	20.0	-
	3 世 代 世 帯	227	5.7	7.9	13.7	35.7	49.3	35.2	14.1	1.3
	自分（夫婦）と子と孫	195	6.2	8.7	14.9	36.9	46.7	32.8	13.8	1.5
	親と自分（夫婦）と子	32	3.1	3.1	6.3	28.1	65.6	50.0	15.6	-
そ の 他	299	3.3	7.4	10.7	37.5	51.2	35.1	16.1	0.7	

客観的健康状態別にみると、「不安が大きい」は差し支えあり層で高く、差し支えなし層で低くなっている。（図表VII-13）

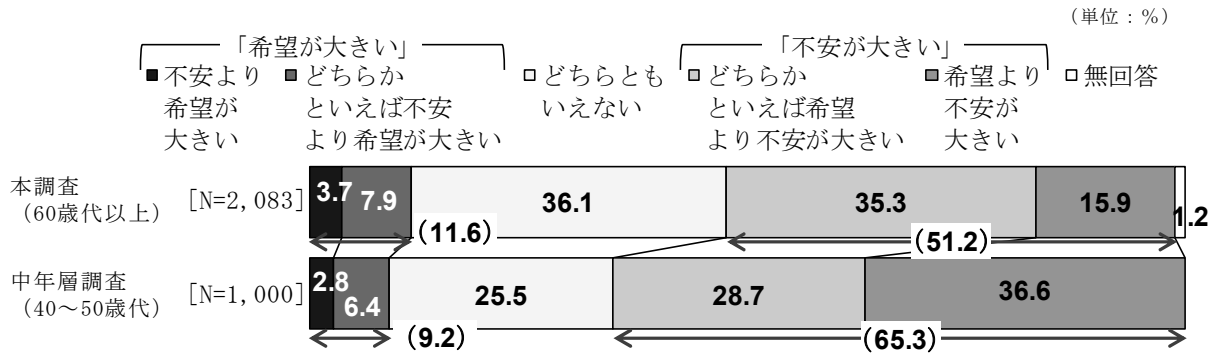
〈図表VII-13〉 長寿社会への不安感 [客観的健康状態別]

(単位：%)

		N	不安が大きいより希望が	がばど 大不安 いより か いと 希 い 望 え	希望が大きい	など い ち ら と も い え	不安が大きい	がばど 大希望 いより か いと 希 い 望 え	大希望 いより 不安が	無回答
全 体		2,083	3.7	7.9	11.6	36.1	51.2	35.3	15.9	1.2
客観的 健康 状態 別	差 し 支 え な し	925	3.8	8.3	12.1	38.6	▲48.1	36.6	▲11.5	1.2
	ほんの少し差し支えあり	669	3.3	9.1	12.4	34.5	52.5	35.1	17.3	0.6
	差 し 支 え あ り	303	4.0	5.9	9.9	▲31.0	56.8	34.0	22.8	2.3
	大いに差し支えあり	125	2.4	4.8	7.2	35.2	57.6	31.2	26.4	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「不安が大きい」は中年層の65.3%に比べて、60歳代以上は51.2%と、14.1ポイント下回っている。一方、「希望が大きい」は2.4ポイント差で60歳代以上がやや上回っている。〈図表Ⅶ-14〉

〈図表Ⅶ-14〉 長寿社会への不安感 「中年層調査」との比較：参考



(単位：%)

	N	不安感の程度								
		不安より希望が大きい	どちらかといえば不安より希望が大きい	希望が大きい	どちらともいえない	不安が大きい	どちらかといえば希望より不安が大きい	希望より不安が大きい	無回答	
本調査	全体	2,083	3.7	7.9	11.6	36.1	51.2	35.3	15.9	
	60～64歳	353	2.8	7.6	10.5	34.3	54.1	35.7	18.4	
	65～69歳	406	3.2	7.1	10.3	33.7	54.7	36.7	18.0	
	70～74歳	497	3.2	7.0	10.3	36.4	51.9	40.0	11.9	
	75～79歳	407	2.9	7.6	10.6	37.3	51.4	35.9	15.5	
	80～84歳	242	3.7	9.9	13.6	36.8	49.2	32.6	16.5	
	85～89歳	132	7.6	10.6	18.2	37.9	41.7	23.5	18.2	
	90歳以上	46	15.2	8.7	23.9	45.7	28.3	13.0	15.2	
中年層調査	全体	1,000	2.8	6.4	9.2	25.5	65.3	28.7	36.6	
	40～44歳	287	2.8	6.6	9.4	22.6	67.9	30.3	37.6	
	45～49歳	267	4.9	3.7	8.6	23.2	68.2	28.5	39.7	
	50～54歳	228	1.3	6.1	7.5	30.3	62.3	27.2	35.1	
	55～59歳	218	1.8	9.6	11.5	27.1	61.5	28.4	33.0	



### 3. 長寿社会において最も不安なこと

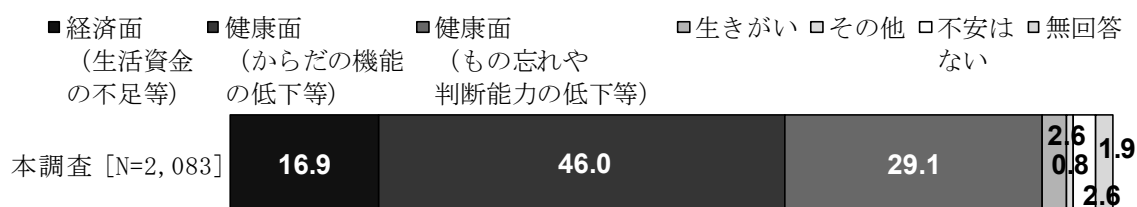
Q22 人生 100 年時代の到来に対し、あなたが最も不安に感じることはなんですか。この中から 1 つだけお答えください。

- 1 経済面（生活資金の不足等）
- 2 健康面（からだの機能の低下等）
- 3 健康面（もの忘れや判断能力の低下等）
- 4 生きがい
- 5 その他
- 6 不安はない

長寿社会において最も不安なことについては、「健康面（からだの機能の低下等）」が 46.0%と最も多く、「健康面（もの忘れや判断能力の低下等）」の 29.1%が続いている。これらに比べると、「経済面（生活資金の不足等）」は 16.9%と低くなっている。また、「生きがい」は 2.6%、「不安はない」は 2.6%にとどまっている。〈図表Ⅶ－15〉

〈図表Ⅶ－15〉 長寿社会において最も不安なこと

（単位：％）



性別にみると、「健康面（もの忘れや判断能力の低下等）」は、女性の方が男性を上回っている。これ以外は、特に差がみられない。

年齢別にみると、「経済面（生活資金の不足等）」は60歳代の層で高くなっており、85～89歳で低くなっている。一方、「健康面（からだの機能の低下等）」は85～89歳で高く、低年齢層になるほど、低くなっている傾向がみられる。

また、「不安はない」は80歳以上の層で高く、90歳以上では13.0%と80歳代に比べても高くなっている。（図表Ⅶ-16）

〈図表Ⅶ-16〉 長寿社会において最も不安なこと〔性・年齢別〕

（単位：％）

		N	経済面 不足（生活資 金）	健康面 の（からだ の機能の低 下等）	健康面 の（もの 忘れや判断 能力の低下 等）	生きがい	その他	不安 はない	無 回答
全 体		2,083	16.9	46.0	29.1	2.6	0.8	2.6	1.9
性 別	男 性	964	18.0	46.4	▲26.7	3.0	0.8	3.3	1.8
	女 性	1,119	15.8	45.8	○31.3	2.2	0.8	2.1	2.1
本 人 年 齢 別	60～64歳	353	○21.5	▲38.5	32.3	3.1	0.6	1.7	2.3
	65～69歳	406	○22.4	43.8	27.6	1.7	0.7	▲1.2	2.5
	70～74歳	497	15.9	47.1	29.8	2.4	1.2	2.2	1.4
	75～79歳	407	14.3	48.4	29.5	2.5	0.7	2.2	2.5
	80～84歳	242	12.8	49.6	28.5	3.3	0.8	○4.5	0.4
	85～89歳	132	▲8.3	○55.3	24.2	3.8	0.8	○5.3	2.3
	90歳以上	46	10.9	45.7	26.1	2.2	-	○13.0	2.2

本人年収別にみると、「経済面（生活資金の不足等）」は、収入はない層で高く、高収入層ほど低くなっている。収入はない層では「不安はない」も高くなっており、一方、「健康面（もの忘れや判断能力の低下等）」は低くなっている。（図表Ⅶ-17）

〈図表Ⅶ-17〉 長寿社会において最も不安なこと〔本人年収別〕

（単位：％）

		N	経済面 不足（生活資 金）	健康面 の（からだ の機能の低 下等）	健康面 の（もの 忘れや判断 能力の低下 等）	生きがい	その他	不安 はない	無 回答
全 体		2,083	16.9	46.0	29.1	2.6	0.8	2.6	1.9
本 人 年 収 別	収入はない	292	○22.3	44.5	▲21.6	3.8	0.7	○4.5	2.7
	100万円未満	435	19.1	44.6	30.6	2.1	0.5	2.5	▲0.7
	100～500万円未満	1,072	16.0	46.2	30.0	2.5	1.0	2.2	2.1
	500～1,000万円未満	135	11.9	49.6	33.3	2.2	-	1.5	1.5
	1,000～2,000万円未満	25	8.0	44.0	36.0	4.0	-	8.0	-
	2,000万円以上	13	15.4	61.5	23.1	-	-	-	-

世帯保有金融資産別にみると、「経済面（生活資金の不足等）」は1,000万円未満の各層で2割台と高く、高資産層になるほど低くなっている。

「健康面（からだの機能の低下等）」は5,000万円～1億円未満層で56.3%と高くなっており、低資産層になるほど低くなっている。

「生きがい」は2,000～5,000万円未満層で高く、1,000～2,000万円未満層で低くなっている。  
 〈図表Ⅶ-18〉

〈図表Ⅶ-18〉 長寿社会において最も不安なこと〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	金経済 の面 不足（生 活資 等）	等）の健 機康 能面 の（低 下 下ら だ	低れ健 下や康 等）判 面断（ 能も 力の 忘	生 き が い	そ の 他	不 安 は な い	無 回 答
全 体		2,083	16.9	46.0	29.1	2.6	0.8	2.6	1.9
金融 資産 別	100 万 円 未 満	303	27.7	▲37.3	26.1	3.6	0.3	3.0	2.0
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	21.6	43.6	27.9	2.5	0.6	2.1	1.7
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	▲12.5	49.1	33.0	▲0.7	0.4	2.6	1.8
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	▲7.6	50.0	32.8	4.6	1.3	2.3	1.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	▲4.2	56.3	31.9	2.5	0.8	3.4	0.8
	1 億 円 以 上	23	-	56.5	43.5	-	-	-	-

家族形態別にみると、特に差はみられない。〈図表Ⅶ-19〉

〈図表Ⅶ-19〉 長寿社会において最も不安なこと〔家族形態別〕

(単位：%)

		N	金経済 の面 不足（生 活資 等）	等）の健 機康 能面 の（低 下 下ら だ	低れ健 下や康 等）判 面断（ 能も 力の 忘	生 き が い	そ の 他	不 安 は な い	無 回 答
全 体		2,083	16.9	46.0	29.1	2.6	0.8	2.6	1.9
家族 形 態 別	単 身	333	14.7	45.9	30.6	2.1	1.2	3.9	1.5
	夫 婦 の み	773	15.4	47.1	28.6	3.5	0.8	2.2	2.5
	2 世 代 世 帯	424	17.7	46.2	30.9	1.7	0.7	1.4	1.4
	夫 婦 と 子 の み	354	18.4	46.3	29.7	1.7	0.8	1.4	1.7
	親と自分（夫婦）のみ	70	14.3	45.7	37.1	1.4	-	1.4	-
	3 世 代 世 帯	227	18.9	47.6	24.2	2.2	0.4	4.4	2.2
	自分（夫婦）と子と孫	195	17.9	49.2	24.1	2.1	-	4.1	2.6
	親と自分（夫婦）と子	32	25.0	37.5	25.0	3.1	3.1	6.3	-
そ の 他	299	18.7	42.1	31.4	2.7	1.0	2.7	1.3	

客観的健康状態別にみると、「経済面（生活資金の不足等）」は、差し支えあり層で高く、差し支えなし層で低くなっている。一方、「健康面（からだの機能の低下等）」は、差し支えあり層で低くなっている。〈図表Ⅶ-20〉

〈図表Ⅶ-20〉 長寿社会において最も不安なこと [客観的健康状態別]

(単位：%)

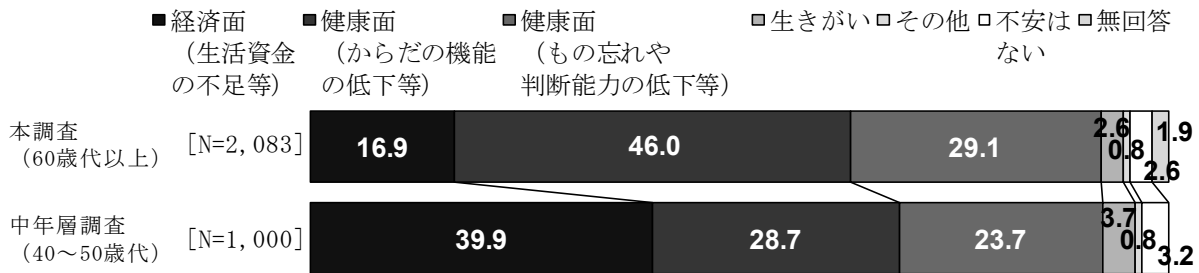
		N	経済面 (生活資金 不足等)	健康面 (からだの 機能の低 下等)	健康面 (判断能 力の忘 れ等)	生きが い	そ の 他	不 安 は な い	無 回 答
全 体			16.9	46.0	29.1	2.6	0.8	2.6	1.9
客 観 的 健 康 状 態 別	差 し 支 え な し	925	▲14.2	47.1	30.7	2.9	0.8	2.3	2.1
	ほんの少し差し支えあり	669	16.9	47.2	29.4	2.8	1.0	▲1.2	1.3
	差 し 支 え あ り	303	○22.4	▲40.6	28.4	1.3	1.0	4.0	2.3
	大いに差し支えあり	125	21.6	44.8	23.2	1.6	-	○8.0	0.8

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「経済面（生活資金の不足等）」は、中年層よりも60歳代以上が大きく下回っている（23.0ポイント差）。逆に、「健康面（からだの機能の低下等）」は、中年層に比べて、60歳代以上が大きく上回っている（17.3ポイント差）。

なお、「健康面（もの忘れや判断能力の低下等）」は両者の差が5.4ポイントにとどまり、上記に比べると、開きは小さい。〈図表Ⅶ-21〉

〈図表Ⅶ-21〉 長寿社会において最も不安なこと 「中年層調査」との比較：参考

（単位：％）



（単位：％）

		N	経済面 の不足等 (生活資金)	健康面 の低下等 (からだの機能)	健康面 の低下等 (もの忘れや 判断能力)	生きがい	その他	不安はない
本調査	全 体	2,083	16.9	46.0	29.1	2.6	0.8	2.6
	60～64歳	353	21.5	38.5	32.3	3.1	0.6	1.7
	65～69歳	406	22.4	43.8	27.6	1.7	0.7	1.2
	70～74歳	497	15.9	47.1	29.8	2.4	1.2	2.2
	75～79歳	407	14.3	48.4	29.5	2.5	0.7	2.2
	80～84歳	242	12.8	49.6	28.5	3.3	0.8	4.5
	85～89歳	132	8.3	55.3	24.2	3.8	0.8	5.3
	90歳以上	46	10.9	45.7	26.1	2.2	-	13.0
中年層調査	全 体	1,000	39.9	28.7	23.7	3.7	0.8	3.2
	40～44歳	287	42.5	27.9	21.3	4.9	1.4	2.1
	45～49歳	267	44.6	24.7	22.1	3.4	0.4	4.9
	50～54歳	228	39.5	27.6	26.3	3.5	0.4	2.6
	55～59歳	218	31.2	35.8	26.1	2.8	0.9	3.2